

平成24年6月11日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年7月11日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17375号	トリフミン乳剤	トリフルミゾール乳剤	日本曹達株式会社
第17377号	石原トリフミン乳剤	トリフルミゾール乳剤	石原産業株式会社
第19470号	ヤシマトリフミン乳剤	トリフルミゾール乳剤	協友アグリ株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限に係る部分のみ）】

作物名「ばら」を削除する。

【適用表（今回の使用制限に係る部分のみ）】

〈変更前〉

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
ばら	うどんこ病	2000倍	—	5回以内	散布	5回以内

〈変更後〉

なし

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774



### 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21587号	協友農将軍フロアブル	ジメタメトリン・ピリブチカルブ ・プレチラクロール水和剤	協友アグリ株式会社
第19629号	チバガイギー・農将軍フロアブル	ジメタメトリン・ピリブチカルブ ・プレチラクロール水和剤	シンジェンタジャパン株式会社
第19630号	農将軍フロアブル	ジメタメトリン・ピリブチカルブ ・プレチラクロール水和剤	日本曹達株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

作物名「移植水稻」の使用時期「植代後～移植4日前まで、移植直後～ $LEI1.5$ 葉期 但し、移植後30日まで」を「植代後～移植7日前又は移植直後～ $LEI1.5$ 葉期 但し、移植後30日まで」に、また「植代後～移植4日前まで、移植直後～ $LEI1$ 葉期 但し、移植後30日まで」を「植代後～移植7日前又は移植直後～ $LEI1$ 葉期 但し、移植後30日まで」に変更する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

【 変更前 】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツガイ ホトケ ハラモダカ(北海道、東北) アオトリロ・藻類による表層 はく離(北海道、東北、 北陸、関東・東山・東海)	植代後～ 移植4日前まで、 移植直後～ $LEI1.5$ 葉期 但し、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	500ml /10a	1回	原液湛水 散布	関東・東山・ 東海の普通期及 び早期栽培地帯
	水田一年生雑草 及び マツガイ ホトケ ハラモダカ(北海道、東北) アオトリロ・藻類による表層 はく離(北海道、関東・ 東山・東海)	植代後～ 移植4日前まで、 移植直後～ $LEI1$ 葉期 但し、 移植後30日まで		300ml /10a (少量 散布)			東北、北陸、 関東・東山・東海 の普通期及び 早期栽培地帯



平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21591号	協友オードラム粒剤	モリネート粒剤	協友アグリ株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ） 】

作物名「移植水稻」の使用時期「植代後～移植前4日又は移植後12葉期まで」を「植代後～移植7日前又は移植後12葉期まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	エネトを含む農薬の総使用回数
移植水稻	ルイマツハイホルイ	植代後～移植前4日 又は移植後ルイ2葉期まで	砂壤土～埴土 (但し、九州・南四国などの暖地では壤土～埴土) (減水深2cm/日以下)	3～4kg/10a	2回以内	湛水散布	全域 (北海道を除く)の普通期栽培地帯	2回以内

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	エネトを含む農薬の総使用回数
移植水稻	ルイマツハイホルイ	植代後～移植7日前 又は移植後ルイ2葉期まで	砂壤土～埴土 (但し、九州・南四国などの暖地では壤土～埴土) (減水深2cm/日以下)	3～4kg/10a	2回以内	湛水散布	全域 (北海道を除く)の普通期栽培地帯	2回以内

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774



【 変更後 】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ピラロニルを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバ カキ ハコグサ (北海道、東北) ウリカ ヒルシ オダマキ クダマ (関東・東山・東海、近畿・中国・四国) コキガサ (関東・東山・東海、九州)	植代後～移植 7日前又は 移植直後～ 1.5葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～ 埴土	1kg / 10 a	1回	湛水散布	全域 (北海道を除く) の普通期 及び早期 栽培地帯	2回以内

【 変更理由 】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774



平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

### 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22088号	ピラクロンフロアブル	ピラクロニル水和剤	協友アグリ株式会社
第22224号	兆フロアブル	ピラクロニル水和剤	住化グリーン株式会社

#### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

作物名「移植水稻」の使用時期を「植代後～移植4日前又は移植直後～L<sub>1</sub>1.5葉期 ただし、移植後30日まで」から「植代後～移植7日前又は移植直後～L<sub>1</sub>1.5葉期 ただし、移植後30日まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ピラコニルを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホムソ ヘラオタカ（北海道、東北） ウリカ ヒルムソ オタカ クダマ（関東・東山・東海、 近畿・中国・四国） コキヤカラ（東北、関東・東山・ 東海、九州）	植代後～ 移植4日前 又は 移植直後～ 比E1.5葉期 ただし、 移植後 30日まで	砂壤土～ 埴土	500ml /10 a	1回	原液湛水 散布	全域 （北海道を 除く）の 普通期及び 早期栽培地帯	2回以内

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ピラコニルを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホムソ ヘラオタカ（北海道、東北） ウリカ ヒルムソ オタカ クダマ（関東・東山・東海、 近畿・中国・四国） コキヤカラ（東北、関東・東山・ 東海、九州）	植代後～ 移植7日前 又は 移植直後～ 比E1.5葉期 ただし、 移植後 30日まで	砂壤土～ 埴土	500ml /10 a	1回	原液湛水 散布	全域 （北海道を 除く）の 普通期及び 早期栽培地帯	2回以内

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22089号	ピラクロショットフロアブル	クミルロン・ピラクロニル水和剤	協友アグリ株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

作物名「移植水稻」の使用時期「植代後～移植4日前又は移植直後～ル<sup>1</sup>1.5葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植7日前又は移植直後～ル<sup>1</sup>1.5葉期 ただし、移植後30日まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

〔変更前〕

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバ ホト ミズガヤツリ ウリカ ヒルムシロ ヘオモダカ(北海道、東北) オダカ(北海道、東北を除く) クダマ(北海道を除く) コキヤガラ(関東・東山・東海) アミドロ・藻類による表層はく離(関東・東山・東海、近畿・中国・四国)	植代後～ 移植4日前 又は 移植直後～ ル <sup>1</sup> 1.5葉期 ただし、 移植後30日 まで	砂壤土～ 埴土	500ml /10 a	1回	原液湛水 散布	全域 (北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯

クミルロンを含む 農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

【 変更後 】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホトメ ミスガヤツリ ウリカ ヒルムシロ ハラモダカ(北海道、東北) サダナ(北海道、東北を除く) カグワイ(北海道を除く) コキヤガラ(関東・東山・東海) アミドロ・藻類による表層はく離(関東・東山・東海、近畿・中国・四国)	植代後～ 移植7日前 又は 移植直後～ 1.5葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	500ml /10 a	1回	原液湛水 散布	全域 (北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯

クミルロンを含む 農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

【 変更理由 】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

### 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22120号	ピラクロショット1キロ粒剤	クミルロン・ピラクロニル粒剤	協友アグリ株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「移植水稻」の使用時期「植代後～移植4日前又は移植直後～ $1.5$ 葉期 但し、移植後30日まで」を「植代後～移植7日前又は移植直後～ $1.5$ 葉期 但し、移植後30日まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホトケル ハラオダカ(北海道) ミズガヤツリ(北海道を除く) ウリカ ヒルムシロ オダカ(北海道 東北を除く) クログワイ(北海道を除く) コウキガウ(関東・東山・東海)	植代後～ 移植4日前又は 移植直後～ $1.5$ 葉期 但し、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	1kg/10a	1回	湛水散布	全域 (北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯

クミルロンを含む 農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ハラモダカ(北海道) ミダガツリ(北海道を除く) ウリカ ヒルムシロ オダカ(北海道 東北を除く) カダマ(北海道を除く) コウキガウ(関東・東山・東海)	植代後～ 移植7日前 又は移植直後～ ルイ1.5葉期 但し、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	1kg/10a	1回	湛水散布	全域 (北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯

クミルロンを含む 農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL: 03-3502-5969

FAX: 03-3501-3774

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18163号	エリジャン乳剤	プレチラクロール乳剤	シンジェンタジャパン株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

- 作物名「移植水稻」の使用時期「植代時～移植4日前まで」を「植代後～移植7日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

別紙1のとおり。

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18567号	ソルネット1キロ粒剤	プレチラクロール粒剤	シンジェンタジャパン株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

- 作物名「移植水稻」の使用時期「植代後～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

別紙2のとおり。

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20963号	エリジャンジャンボ	プレチラクロール粒剤	シンジェンタジャパン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- 作物名「移植水稻」の使用時期「植代時～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

別紙3のとおり。

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22138号	エリジャンEW乳剤	プレチラクロール乳剤	シンジェンタジャパン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- 作物名「移植水稻」の使用時期「植代時～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

別紙4のとおり。

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774



## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ	植代時～移植 4日前まで	壤土～ 埴土	300～ 500mL/10a	1回	原液湛水 散布	全域の普通期 及び 早期栽培地帯	2回以内
			砂壤土	300mL/10a				

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ	植代後～移植 7日前まで	壤土～ 埴土	300～ 500mL/10a	1回	原液湛水 散布	全域の普通期 及び 早期栽培地帯	2回以内
			砂壤土	300mL/10a				

【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	植代後～移植前 4日又は移植直 後～ノビエ1葉 期 ただし、移 植後30日まで	壤土～埴土 但し、北海 道、東北、北 陸では砂壤 土を含む	1kg/10a	1回	湛水 散布	全域(近畿・中国 ・四国、九州を除 く)の普通期及 び早期栽培地帯	2回以内
	近畿・中国・四国 及び九州の普通 期及び早期栽培 地帯							

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	植代後～移植前 7日又は移植直 後～ノビエ1葉 期 ただし、移 植後30日まで	壤土～埴土 但し、北海 道、東北、北 陸では砂壤 土を含む	1kg/10a	1回	湛水 散布	全域(近畿・中国 ・四国、九州を除 く)の普通期及 び早期栽培地帯	2回以内
	近畿・中国・四国 及び九州の普通 期及び早期栽培 地帯							

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北)	植代時～ 移植前 4 日 又は 移植直後～ ノビエ 1 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	砂壤土 ～ 埴土	小包装 (パック) 10 個 (300g) /10a	1 回	水田に 小包装 (パック) のま ま投げ入 れる。	全域 (北海道を 除く) の普 通期及び早 期栽培地帯	2 回以内

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北)	植代後～ 移植前 7 日 又は 移植直後～ ノビエ 1 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	砂壤土 ～ 埴土	小包装 (パック) 10 個 (300g) /10a	1 回	水田に 小包装 (パック) のま ま投げ入 れる。	全域 (北海道を 除く) の普 通期及び早 期栽培地帯	2 回以内

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (北海道) ミズガヤツリ (北海道を除く)	植代時～移植前 4日又は移植直 後～ノビエ1葉 期 ただし、移 植後30日まで	砂壤土 ～埴土	100 mL/10a	100 mL/10a (原液) ～ 500mL/ 10a	1回	灌水 散布 又は 水口 施用	全域(北海道 を除く)の普 通期及び早 期栽培地帯	2回以内

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (北海道) ミズガヤツリ (北海道を除く)	植代後～移植前 7日又は移植直 後～ノビエ1葉 期 ただし、移 植後30日まで	砂壤土 ～埴土	100 mL/10a	100 mL/10a (原液) ～ 500mL/ 10a	1回	灌水 散布 又は 水口 施用	全域(北海道 を除く)の普 通期及び早 期栽培地帯	2回以内

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21096号	ロンスター乳剤	オキサジアゾン乳剤	バイエルクロップサイエンス株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1. 作物名「移植水稻」の使用時期「植代時～移植4日前まで」を「植代後～移植7日前まで」及び「植代時（移植7日前まで）」に変更する。
2. 作物名「直播水稻」の使用時期「湛水直播の植代時～は種4日前まで」を「湛水直播の植代後～は種7日前まで」及び「湛水直播の植代時（は種7日前まで）」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】  
別紙のとおり

### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774

別紙

[ 変更前 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	杆ジ'ア'ンを 含む農薬の 総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	植代時～ 移植4日前 まで	砂壤土 ～埴土 (減水深 2cm/日 以下)	500mL/10a	1回	原液湛水 散布	全域の 普通期及び 早期栽培地帯	1回
直播水稻		湛水直播の 植代時～ は種4日前 まで	壤土～ 埴土 (極端な 漏水田を 除く)	350～500 mL/10a			全域 (北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯	

[ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	杆ジ'ア'ンを 含む農薬の 総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	植代後～ 移植7日前 まで	砂壤土 ～埴土 (減水深 2cm/日 以下)	500mL/10a	1回	原液湛水 散布	全域の 普通期及び 早期栽培地帯	1回
		植代時 (移植7日前 まで)				植代時に 原液のまま 散布し混和 する		
直播水稻		湛水直播の 植代後～ は種7日前 まで	壤土～ 埴土 (極端な 漏水田を 除く)	350～500 mL/10a		原液湛水 散布	全域 (北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯	
		湛水直播の 植代時 (は種7日前 まで)			植代時に 原液のまま 散布し混和 する			

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21709号	用心棒フロアブル	オキサジアゾン・クロメプロップ水和剤	バイエルクロップサイエンス株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

使用時期「植代後～移植4日前まで」を「植代後～移植7日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

別紙のとおり

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

別紙

[ 変更前 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ オシロイ アオミドロ・藻類 による表層はく離 (北陸を除く)	植代後～移植4日前まで 又は 移植直後～移植後5日まで (ノビエ1葉期まで)	砂壤土～埴土	300～500 mL/10a	1回	手振り原液湛水散布	東北、北陸
			壤土～埴土				関東・東山・東海、近畿・中国・四国の普通期及び早期栽培地帯
			砂壤土～埴土	500mL/10a			九州の普通期及び早期栽培地帯

オキサジアゾンを含む 農薬の総使用回数	クロメプロップを含む 農薬の総使用回数
1回	2回以内

[ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ オシロイ アオミドロ・藻類に よる表層はく離 (北陸を除く)	植代後～移植7日前まで 又は 移植直後～移植後5日まで (ノビエ1葉期まで)	砂壤土～埴土	300～500 mL/10 a	1回	手振り原液湛水散布	東北、北陸
			壤土～埴土				関東・東山・東海、近畿・中国・四国の普通期及び早期栽培地帯
			砂壤土～埴土	500mL/10 a			九州の普通期及び早期栽培地帯

オキサジアゾンを含む 農薬の総使用回数	クロメプロップを含む 農薬の総使用回数
1回	2回以内



## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18715号	ユニハーブフロアブル	プレチラクロール・ベンゾフェナップ水和剤	大塚アグリテクノ株式会社
第18717号	ホクコーユニハーブフロアブル	プレチラクロール・ベンゾフェナップ水和剤	北興化学工業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- 使用時期「植代時～移植前4日前まで」を「植代時（移植7日前まで）」及び「植代後～移植前7日まで」に変更し、使用時期「植代時（移植7日前まで）」の使用方法を「植代時に原液のまま散布し混和する」とする。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道、東北) オモダカ	植代時～ 移植4日前まで	砂壤土～埴土	500ml /10a	1回	原液 湛水 散布	全域の普通期栽培地帯及び関東・東山・東海の早期栽培地帯
			埴土～埴土				近畿・中国・四国、九州の早期栽培地帯

プレチラクロールを含む農薬の総使用回数	ベンゾフェナップを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

[ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道、東北) オモダカ	植代時 (移植7日前まで)	砂壤土～埴土	500ml /10a	1回	植代時に 原液のまま散布し 混和する	全域の普通期栽培地帯及び関東・東山・東海の早期栽培地帯
			壤土～埴土				近畿・中国・四国、九州の早期栽培地帯
		植代後～ 移植7日前まで	砂壤土～埴土			原液 湛水 散布	全域の普通期栽培地帯及び関東・東山・東海の早期栽培地帯
			壤土～埴土				近畿・中国・四国、九州の早期栽培地帯

プレチラクロールを含む 農薬の総使用回数	ベンゾフェナップを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

【 変更理由 】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第19784号	アルファ フロアブル	テリクロール水和剤	(株)エス・ディー・エス ハイテック

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

農薬登録申請書第7項「適用病害虫の範囲及び使用方法」の使用時期「植代時～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」とする。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	テリクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバイ	植代時～移植前4日 または 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	壤土～埴土	500ml/ 10a	1回	原液湛水散布	北海道	2回以内
			砂壤土～埴土				全域（北海道を除く）の普通期及び早期栽培地帯	

〔変更後〕

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	テリクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバイ	植代後～移植前7日 または 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	壤土～埴土	500ml/ 10a	1回	原液湛水散布	北海道	2回以内
			砂壤土～埴土				全域（北海道を除く）の普通期及び早期栽培地帯	

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

### 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20137号	ショックアワブル	ダイムロン・テニクロール水和剤	(株)エス・デー・エスバイオテック
第20302号	大塚ショックアワブル	ダイムロン・テニクロール水和剤	大塚アグリテック(株)

#### ■変更内容及び変更理由

##### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

農薬登録申請書第7項「適用病害虫の範囲及び使用方法」の使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」に変更する。

##### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水 稲	水田一年生雑草 及び マツパイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道)	植代後～移植前4日 または 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土～埴土	500m <sup>l</sup> /10a	1回	原液湛水散布又は水口施用	全域の普通期および早期栽培地帯

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水 稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道)	植代後～移 植前7日 または 移植直後～ ビエ1葉期 ただし、移植 後30日まで	砂壤土～埴土	500mℓ/10a	1回	原液湛水 散布又は 水口施用	全域の普通期 および早期栽 培地帯

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

### 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20625号	ショウエースフロアブル	ベンゾピシクロ水和剤	(株)エス・ディー・エスハイテック

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

農薬登録申請書第7項「適用病害虫の範囲及び使用方法」の使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～移植後5日（1葉期まで）」を「植代後～移植前7日または移植直後～1葉期 ただし、移植後30日まで」とする。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ	植代後～ 移植前4日 または 移植直後～ 移植後5日 (1葉期まで)	壤土～埴土 (減水深1cm/日以下)	500ml /10a	1回	原液 湛水 散布	近畿・中国・ 四国の普通 期栽培地帯	2回以内
			砂壤土～埴土 (減水深2cm/日以下)				九州の普通 期栽培地帯	

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ	植代後～ 移植前7日 または 移植直後～1 葉期 ただし、移植後 30日まで	壤土～埴土	500ml /10a	1回	原液 湛水 散布	近畿・中国・ 四国の普通 期栽培地帯	2回以内
			砂壤土～埴土				九州の普通 期栽培地帯	

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774



平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20626号	シウエーシ1キロ粒剤	ベンゾピシロン粒剤	(株)エス・ティ・エスハイテック

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

農薬登録申請書第7項「適用病害虫の範囲及び使用方法」の使用時期を次のとおり変更する。

- 適用地帯「北陸」の使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～移植後7日（ $L^1$ の1葉期まで）」を「植代後～移植前7日または移植直後～ $L^1$ 1葉期 ただし、移植後30日まで」に変更する。
- 適用地帯「関東・東山・東海の普通期栽培地帯」の使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～移植後5日（ $L^1$ の1葉期まで）」を「植代後～移植前7日または移植直後～ $L^1$ 1葉期 ただし、移植後30日まで」に変更する。
- 適用地帯「近畿・中国・四国の普通期栽培地帯」と「九州の普通期及び早期栽培地帯」の使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～移植後5日（ $L^1$ の1葉期まで）」を「植代後～移植前7日または移植直後～ $L^1$ 1葉期 ただし、移植後30日まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイホタルイ	植代後～移植前4日 または移植直後～移植後7日(レ <sup>1</sup> の1葉期まで)	埴壤土～埴土 [減水深2cm/日以下]	1kg/10a	1回	湛水散布	北陸	2回以内
		植代後～移植前4日 または移植直後～移植後5日(レ <sup>1</sup> の1葉期まで)	砂壤土～埴土 [減水深2cm/日以下]				関東・東山・東海の普通期栽培地帯	
		植代後～移植前4日 または移植直後～移植後5日(レ <sup>1</sup> の1葉期まで)	壤土～埴土 [減水深1cm/日以下]				近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	
			砂壤土～埴土 [減水深2cm/日以下]				九州の普通期栽培地帯	
砂壤土～埴土 [減水深1.5cm/日以下]	九州の早期栽培地帯							

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイホタルイ	植代後～移植前7日 または移植直後～レ <sup>1</sup> 1葉期 ただし、移植後30日まで	壤土～埴土	1kg/10a	1回	湛水散布	北陸	2回以内
		植代後～移植前7日 または移植直後～レ <sup>1</sup> 1葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土～埴土				関東・東山・東海の普通期栽培地帯	
		植代後～移植前7日 または移植直後～レ <sup>1</sup> 1葉期 ただし、移植後30日まで	壤土～埴土				近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	
			砂壤土～埴土				九州の普通期及び早期栽培地帯	

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21921号	マツタブ ジャンボ	クミロン・テニクロール剤	丸紅株式会社
第21922号	日農マツタブ ジャンボ	クミロン・テニクロール剤	日本農薬株式会社
第21923号	トクヤマ マツタブ ジャンボ	クミロン・テニクロール剤	(株) イ・デー・エ バイオテック

### ■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

[変更前] 植代後～移植前4日又は移植後1日～ノビエ1葉期但し、移植後30日まで  
[変更後] 植代後～移植前7日又は移植後1日～ノビエ1葉期但し、移植後30日まで

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】  
 [変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) クログワイ (北海道、九州を除く)	植代後～移植前4日 又は 移植後1日～ ノビエ1葉期 但し、移植後30日 まで	砂壤土～ 埴土	10 個 (500g ) /10 a	1回	水田に投げ入れる	全域 (北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯

クミルロンを含む 農薬の総使用回数	テリコロールを含む農薬 の総使用回数
2回以内	2回以内

[ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) クログワイ (北海道、九州を除く)	植代後～移植前7日 又は 移植後1日～ ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	10個 (500g) /10a	1回	水田に投げ入れる	全域 (北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯

クミルロンを含む 農薬の総使用回数	テニカロールを含む農薬 の総使用回数
2回以内	2回以内

【 変更理由 】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名(商品名)	農薬の種類名	製造者名
第18913号	パデホープ1キロ粒剤	ダイムロン・プレチラクロール粒剤	クミアイ化学工業株式会社
第18914号	SDSパデホープ1キロ粒剤	ダイムロン・プレチラクロール粒剤	株式会社エス・ディー・エスバイオテック

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「移植水稻」の使用時期を次のとおり変更する。

【変更前】 植代後～移植前4日又は移植直後～1葉期 但し、移植後30日まで

【変更後】 植代後～移植前7日又は移植直後～1葉期 但し、移植後30日まで

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

別紙のとおり

【変更後】

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## [ 変更前 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道、東北、北陸)	植代後～移植前4日 又は 移植直後～1葉期 但し、移植後30日まで	砂壤土 ～ 埴土	1kg/10a	1回	湛水散布	全域の 普通期 及び 早期栽培 地帯

ダイムロンを含む農薬の総使用回数	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	2回以内

## [ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道、東北、北陸)	植代後～移植前7日 又は 移植直後～1葉期 但し、移植後30日まで	砂壤土 ～ 埴土	1kg/10a	1回	湛水散布	全域の 普通期 及び 早期栽培 地帯

ダイムロンを含む農薬の総使用回数	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	2回以内

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22200号	キルクサ1キロ粒剤	オキサジアルギル粒剤	クミアイ化学工業株式会社
第22753号	ホクサンキルクサ1キロ粒剤	オキサジアルギル粒剤	ホクサン株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「移植水稻」の使用時期を次のとおり変更する。

【変更前】 植代後～移植前4日又は移植直後～ルイ1葉期 但し、移植後15日まで

【変更後】 植代後～移植前7日又は移植直後～ルイ1葉期 但し、移植後15日まで

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

別紙のとおり

【変更後】

別紙のとおり

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774



登録番号	農薬名(商品名)	農薬の種類名	製造者名
第22200号	キルクサ1キロ粒剤	オキサジアルギル粒剤	クミアイ化学工業株式会社

## [変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	オキサジアルギルを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ	移植直後～ル・E1葉期 但し、移植後15日まで	砂壤土 ～ 埴土	1kg/10a	2回 以内	湛水散布	北海道	2回以内
		植代後～移植前4日 又は 移植直後～ル・E1葉期 但し、移植後15日まで					全域(北海道を除く) の普通期 及び早期 栽培地帯	
		移植時				田植同時 散布機で 施用	全域の 普通期 及び早期 栽培地帯	

## [変更後]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	オキサジアルギルを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ	移植直後～ル・E1葉期 但し、移植後15日まで	砂壤土 ～ 埴土	1kg/10a	2回 以内	湛水散布	北海道	2回以内
		植代後～移植前7日 又は 移植直後～ル・E1葉期 但し、移植後15日まで					全域(北海道を除く) の普通期 及び早期 栽培地帯	
		移植時				田植同時 散布機で 施用	全域の 普通期 及び早期 栽培地帯	

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22753号	ホクサンキルクサ1キロ粒剤	オキサジアルギル粒剤	ホクサン株式会社

[ 変更前 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	オキサジアルギルを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバイ	移植直後～1葉期 但し、移植後15日まで	壤土～埴土	1kg/10a	2回以内	湛水散布	北海道	2回以内
		植代後～移植前4日 又は 移植直後～1葉期 但し、移植後15日まで	砂壤土～埴土				東北、近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	
			壤土～埴土				北陸、関東・東山・東海、九州の普通期及び早期栽培地帯	

[ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	オキサジアルギルを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバイ	移植直後～1葉期 但し、移植後15日まで	壤土～埴土	1kg/10a	2回以内	湛水散布	北海道	2回以内
		植代後～移植前7日 又は 移植直後～1葉期 但し、移植後15日まで	砂壤土～埴土				東北、近畿・中国・四国の普通期栽培地帯	
			壤土～埴土				北陸、関東・東山・東海、九州の普通期及び早期栽培地帯	

### 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第19442号	石原ボンバード1キロ粒剤	シメトリン・ピラゾキシフェン ・プレチラクロール粒剤	石原産業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「移植水稻」のうち、使用時期「植代後～移植4日前または移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植7日前または移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ (北海道を除く) ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) ヒルムシロ (北海道、関東・東山・東海、九州) アオミドロ・藻類による表層はく離 (九州を除く)	植代後～ 移植4日前 または 移植直後～ ノビエ1.5葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～ 埴土	1kg /10a	1回	湛水散布	東北、北陸、 関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯

シメトリンを含む農薬の総使用回数	ピラゾキシフェンを含む農薬の総使用回数	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ (北海道を除く) ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) ヒルムシロ (北海道、関東・東山 ・東海、九州) アオミドロ・藻類によ る表層はく離 (九州を除く)	植代後～ 移植7日前 または 移植直後～ ノビエ1.5葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～ 埴土	1kg /10a	1回	湛水散布	東北、北陸、 関東・東山・東 海の普通期及 び早期栽培地 帯

シメトリンを含む農薬の総使用回数	ピラゾキシフェンを含む農薬の総使用回数	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22570号	プレキープ1キロ粒剤	ピラゾキシフェン・ ベンゾピシクロン粒剤	石原産業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

- ・作物名「移植水稻」の使用時期を「植代後～移植7日前または移植直後～ノビエ1葉期 但し移植後30日まで」へ変更する。
- ・作物名「直播水稻」の使用時期を「湛水直播の代かき後～は種7日前またはは種直後～ノビエ1葉期 但し収穫90日前まで」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ オモダカ (東北、北陸) ヒルムシロ	植代後～ 移植4日前 または 移植直後～ ノビエ1葉期 但し移植後30日 まで	砂壤土～ 埴土	1kg /10a	1回	湛水散布	東北、北陸
			壤土～ 埴土				関東・東山・ 東海の普通期 及び早期栽培 地帯
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	湛水直播の代かき 後～は種4日前 または は種直後～ ノビエ1葉期 但し収穫90日前ま で	壤土～ 埴土				全域(北海道、 九州を除く)

ピラキフェンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾピシロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

[ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ オモダカ (東北、北陸) ヒルムシロ	植代後～ 移植7日前 または 移植直後～ ノビエ1葉期 但し移植後30日 まで	砂壤土～ 埴土	1kg /10a	1回	湛水散布	東北、北陸
			壤土～ 埴土				関東・東山・ 東海の普通期 及び早期栽培 地帯
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	湛水直播の代かき 後～は種7日前 または は種直後～ ノビエ1葉期 但し収穫90日前ま で	壤土～ 埴土				全域(北海道、 九州を除く)

ピラキフェンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾピシロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

【 変更理由 】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22872号	プレキープフロアブル	ピラゾキシフェン・ ベンゾピシクロン水和剤	石原産業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「移植水稻」のうち、使用時期「植代後～移植4日前または移植直後～ノビエ1葉期 但し移植後30日まで」を「植代後～移植7日前または移植直後～ノビエ1葉期 但し移植後30日まで」へ変更する。
- ・作物名「直播水稻」のうち、使用時期「湛水直播の代かき後～は種4日前またはは種直後～ノビエ1葉期 但し収穫90日前まで」を「湛水直播の代かき後～は種7日前またはは種直後～ノビエ1葉期 但し収穫90日前まで」へ変更する。



【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ（東北） ホタルイ ヘラオモダカ（東北） ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ（東北）	植代後～移植4日前 または 移植直後～ ノビエ1葉期 但し移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	300mL /10a	1回	原液湛 水散布	東北
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ （北海道、東北） ミズガヤツリ （北海道を除く） ウリカワ （北海道を除く） ヒルムシロ （北海道を除く）		壤土～ 埴土	500mL /10a			北陸、近畿 ・中国・四 国の普通期 栽培地帯
							関東・東山 ・東海の普 通期及び早 期栽培地帯
直播 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	湛水直播の代かき後 ～は種4日前 または は種直後～ ノビエ1葉期 但し収穫90日前まで	砂壤土～ 埴土				全域（北海 道、九州を 除く）

ピラギキフエンを含む 農薬の総使用回数	ペンゾピシロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

[ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ（東北） ホタルイ ヘラオモダカ（東北） ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ（東北）	植代後～移植 7 日前 または 移植直後～ ノビエ 1 葉期 但し移植後 30 日まで	砂壤土～ 埴土	300mL /10a	1 回	原液湛 水散布	東北
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ （北海道、東北） ミズガヤツリ （北海道を除く） ウリカワ （北海道を除く） ヒルムシロ （北海道を除く）		壤土～ 埴土	500mL /10a			北陸、近畿 ・中国・四 国の普通期 栽培地帯
							関東・東山 ・東海の普 通期及び早 期栽培地帯
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	湛水直播の代かき後 ～は種 7 日前 または は種直後～ ノビエ 1 葉期 但し収穫 90 日前まで	砂壤土～ 埴土				全域（北海 道、九州を 除く）

ピラギキフェンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシロンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内

【 変更理由 】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第19848号	テマカットフロアブル	ダイムロン・ペントキサゾン水和剤	科研製薬株式会社
第19849号	S D S テマカットフロアブル	ダイムロン・ペントキサゾン水和剤	株式会社エス・ディー・エス バイオテック

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

- 適用作物「移植水稻」における使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」と変更する。
- 適用作物「移植水稻」における使用時期「植代時～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代時（移植7日前まで）」及び「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」と変更し、使用時期「植代時（移植7日前まで）」の使用方法を「植代時に原液のまま散布し混和する」と変更する。
- 適用作物「直播水稻」における使用時期「湛水直播の代かき後～播種前4日」を「湛水直播の代かき時（は種7日前まで）」及び「湛水直播の代かき後～は種前7日」と変更し、使用時期湛水直播の代かき時（は種7日前まで）」の使用方法を代かき時に原液のまま散布し混和する」とする。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

〔変更前〕

別紙のとおり

〔変更後〕

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ベントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ(北海道を除く) コウキヤガラ(東北、関東・東山・東海、九州) シズイ(東北)	植代後～ 移植前4日 または 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	500mL/ 10a	1回	原液湛水 散布 又は 水口施用	北海道、近畿・ 中国・四国の早 期栽培地帯	3回以内 (育苗箱散 布は1回以 内、本田で は2回以 内)	2回以内
		原液湛水 散布 又は 水口施用				全域(北海道を 除く)の普通期 栽培地帯及び関 東・東山・東海、 九州の早期栽培 地帯			
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	湛水直播の代かき後～ 播種前4日	壤土～ 埴土	300mL/ 10a		原 液 湛 水 散 布	全域(北海道を 除く)	2回以内	

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ(北海道を除く) コウキヤガラ(東北、関東・東山・東海、九州) シズイ(東北)	植代後～ 移植前7日 または 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、移植後30日 まで	砂壌土～ 埴土	500mL/ 10a	1回	原液湛水 散布 又は 水口施用	全域	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	2回以内
		植代時に 原液のまま散布し 混和する				全域(北海道を除く)の普通期栽培地帯及び関東・東山・東海、九州の早期栽培地帯			
直播水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	湛水直播の代かき時 (は種7日前まで)	壤土～ 埴土	300mL/ 10a	1回	代かき時に原液のまま散布し混和する	全域(北海道を除く)	2回以内	
		湛水直播の代かき後 ～は種前7日				原液湛水散布			

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第19876号	クサパンチ1キロ粒剤	ダイムロン・ペントキサゾン粒剤	科研製薬株式会社
第19877号	SDSクサパンチ1キロ粒剤	ダイムロン・ペントキサゾン粒剤	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
第21526号	ホクコーダッシュワン1キロ粒剤	ダイムロン・ペントキサゾン粒剤	北興化学工業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

適用作物「移植水稻」における使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで」と変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

別紙のとおり

〔変更後〕

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホトケイ ミスガヤツリ (東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国) ハオモガカ (北海道、東北、北陸) クダマ (関東・東山・東海)	植代後～ 移植前4日 または 移植直後～ ルイ1葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土 ～ 埴土	1kg /10a	1回	湛水散布	全域（北海道、九州を除く）の普通期及び早期栽培地帯

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホトケイ ミスガヤツリ (東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国) ハオモガカ (北海道、東北、北陸) クダマ (関東・東山・東海)	植代後～ 移植前7日 又は 移植直後～ ルイ1葉期 但し、移植後 30日まで	砂壤土 ～ 埴土	1kg /10a	1回	湛水散布	全域（北海道、九州を除く）の普通期及び早期栽培地帯

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20821号	サキドリEW	ブタクロール・ペントキサゾン乳剤	科研製薬株式会社
第20822号	クミアイサキドリEW	ブタクロール・ペントキサゾン乳剤	クミアイ化学工業株式会社
第22742号	シンウチEW	ブタクロール・ペントキサゾン乳剤	科研製薬株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- 適用作物「移植水稲」における使用時期「植代時～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」を「植代時（移植7日前まで）」及び「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」と変更し、使用時期「植代時（移植7日前まで）」の使用方法を「植代時に原液のまま散布し混和する」とする。
- 適用作物「直播水稲」における使用時期「湛水直播の代かき時～は種前4日」を「湛水直播の代かき時（は種7日前まで）」及び「湛水直播の代かき後～は種前7日」と変更し、使用時期「湛水直播の代かき時（は種7日前まで）」の使用方法を「代かき時に原液のまま散布し混和する」とする。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

別紙のとおり

〔変更後〕

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774



## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量	本剤の 使用 回数	使用 方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ オウゴン ハラモトカ (北海道) ミズガヤツリ (北海道を除く) カクワ (北海道を除く) コウキカラ (東北、関東・東山・ 東海、九州)	植代時～移植前4日 または 移植直後～ルイ1葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	500ml /10a	1回	原液湛水 散布	全域(北海道を 除く)の普通期 及び早期栽培 地帯
直播 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ オウゴン ミズガヤツリ	湛水直播の 代かき時～は種前4日		300ml /10a		原液湛水 散布	全域(北海道、 東北を除く)

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ オシロイ ヘラオシロイ (北海道) ミスガヤツリ (北海道を除く)	植代時 (移植7日前まで)	砂壤土 ～ 埴土	500ml /10a	1回	植代時に 原液のまま 散布し 混和する	全域(北海道を 除く)の普通期 及び早期栽培 地帯
	カクワ (北海道を除く) コキヤガラ (東北、関東・東山・ 東海、九州)	植代後～移植前7日 または 移植直後～1葉期 ただし、移植後30日まで				原液湛水 散布	
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ オシロイ ミスガヤツリ	湛水直播の代かき時 (は種7日前まで)		300ml /10a		代かき時 に原液の まま散布 し混和す る	全域(北海道、 東北を除く)
		湛水直播の 代かき後～は種前7日				原液湛水 散布	

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21164号	ダッシュワンフロアブル	ダイムロン・ペントキサゾン水和剤	科研製薬株式会社
第21165号	SDSダッシュワンフロアブル	ダイムロン・ペントキサゾン水和剤	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
第21166号	ホクコーダッシュワンフロアブル	ダイムロン・ペントキサゾン水和剤	北興化学工業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- 適用作物「移植水稻」における使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで」と変更する。
- 適用作物「移植水稻」における使用時期「植代時～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代時（移植7日前まで）」及び「植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで」と変更し、使用時期「植代時（移植7日前まで）」の使用方法を「植代時に原液のまま散布し混和する」とする。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

##### 〔変更前〕

別紙のとおり

##### 〔変更後〕

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道、東北を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北、九州) クログワイ (北海道、九州を除く)	植代後～ 移植前4日 または 移植直後～ ルイ1葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～ 埴土	500mL /10a	1回	原液湛水 散布	九州の普通期 及び早期栽培 地帯
		植代時～ 移植前4日 または 移植直後～ ルイ1葉期 ただし、移植後 30日まで					全域(北海道、 九州を除く)の 普通期及び早 期栽培地帯

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道、東北を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北、九州) クログワイ (北海道、九州を除く)	植代時 (移植7日前ま で)	砂壤土～ 埴土	500mL /10a	1回	植代時に 原液のまま 散布し 混和する	全域(北海道、 九州を除く)の 普通期及び早 期栽培地帯
		植代後～ 移植前7日 又は 移植直後～ ルイ1葉期 但し、移植後30 日まで				原液湛水 散布	全域(北海道を 除く)の普通期 及び早期栽培 地帯

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21234号	科研スピフロアブル	テニクロール・ベントキサゾン水和剤	科研製薬株式会社
第21235号	トクヤマスピフロアブル	テニクロール・ベントキサゾン水和剤	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
第21236号	スピフロアブル	テニクロール・ベントキサゾン水和剤	住友化学株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

適用作物「移植水稻」における使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」と変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

##### 【変更前】

別紙のとおり

##### 【変更後】

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道) クログワイ (東北、北陸、 関東・東山・東海)	植代後～ 移植前4日 又は 移植直後～ ルE1葉期 ただし、 移植後30日 まで	砂壤土～埴土	500mL ／ 10a	1回	原液湛水散布	全域(北海道を除く)の普通期及び早期栽培地帯

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道) クログワイ (東北、北陸、 関東・東山・東海)	植代後～ 移植前7日 又は 移植直後～ ルE1葉期 ただし、 移植後30日 まで	砂壤土～埴土	500mL ／ 10a	1回	原液湛水散布	全域(北海道を除く)の普通期及び早期栽培地帯

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21402号	サキドリ1キロ粒剤	ブタクロール・ペントキサゾン粒剤	科研製薬株式会社
第21403号	クミアイサキドリ1キロ粒剤	ブタクロール・ペントキサゾン粒剤	クミアイ化学工業株式会社
第22743号	シンウチ1キロ粒剤	ブタクロール・ペントキサゾン粒剤	科研製薬株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

適用作物「移植水稻」における使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」と変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

##### 〔変更前〕

別紙のとおり

##### 〔変更後〕

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (北海道、東北) ミズガヤツリ (北海道を除く) クログワイ (北海道、九州を除く) コウキヤガラ (東北、関東・東山・東海、 九州)	植代後～ 移植前4日 または 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	1 kg/ 10a	1回	湛水散布	全域(北海道を除く)の 普通期及び 早期栽培地帯

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (北海道、東北) ミズガヤツリ (北海道を除く) クログワイ (北海道、九州を除く) コウキヤガラ (東北、関東・東山・東海、 九州)	植代後～ 移植前7日 または 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	1 kg/ 10a	1回	湛水散布	全域(北海道を除く)の 普通期及び 早期栽培地帯



平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22322号	サインヨシフロアブル	ペントキサゾン水和剤	科研製薬株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- 適用作物「移植水稻」における使用時期「植代時～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」を「植代時（移植7日前まで）」及び「植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」と変更し、使用時期「植代時（移植7日前まで）」の使用方法を「植代時に原液のまま散布し混和する」とする。
- 適用作物「移植水稻」における使用時期「植代後～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」と変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

##### 【変更前】

別紙のとおり

##### 【変更後】

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ (東北、北陸、関東・東山・東海) ヘラオモダカ (東北)	植代時～ 移植前4日 又は 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、移植後 30日まで	壤土 ～埴土	500mL / 10a	2回以内	原液湛水散布	東北
		植代後～ 移植前4日 又は 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土 ～埴土				北陸
			壤土 ～埴土				関東・東山・東海、 近畿・中国・四国の 普通期栽培地帯及び 関東・東山・東海の 早期栽培地帯
							九州の普通期 及び早期栽培地帯

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ (東北、北陸、関東・東山・東海) ヘラオモダカ (東北)	植代時 (移植7日前まで)	壤土 ～埴土	500mL / 10a	2回以内	植代時に原液の まま散布し混和 する	東北
			砂壤土 ～埴土				北陸
		植代後～ 移植前7日 又は 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、移植後 30日まで	壤土 ～埴土			原液湛水散布	北陸、関東・東山・東海、 近畿・中国・四国の 普通期栽培地帯及び 関東・東山・東海の 早期栽培地帯
							東北、九州の普通期 及び早期栽培地帯

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22655号	クリアホープフロアブル	ペントキサゾン・ACN水和剤	科研製薬株式会社
第22656号	兼商クリアホープフロアブル	ペントキサゾン・ACN水和剤	アグロカネショウ株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

適用作物「移植水稻」における使用時期「植代後～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」と変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

##### 【変更前】

別紙のとおり

##### 【変更後】

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツガイ オシロイ ハラモクカ (北海道、東北) ミズガヤツリ (北海道を除く) アオイトロ・藻類に よる表層はく離	植代後～ 移植前4日 又は 移植直後～ ルイ1葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～埴土	500ml /10a	1回	原液湛水 散布又は 水口施用	全域(北海道 を除く)の普 通期及び早 期栽培地帯

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツガイ オシロイ ハラモクカ (北海道、東北) ミズガヤツリ (北海道を除く) アオイトロ・藻類に よる表層はく離	植代後～ 移植前7日 又は 移植直後～ ルイ1葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～埴土	500ml /10a	1回	原液湛水 散布又は 水口施用	全域(北海道 を除く)の普 通期及び早 期栽培地帯

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21115号	草笛ジャンボ	クミロン・ペンチザン剤	丸紅株式会社
第19854号	科研草笛ジャンボ	クミロン・ペンチザン剤	科研製薬株式会社
第21620号	協友草笛ジャンボ	クミロン・ペンチザン剤	協友アグリ株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

① 「使用量」20個（1kg）/10aの「使用時期」：

[変更前] 植代後～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期但し、移植後30日まで

[変更後] 植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期但し、移植後30日まで

② 「使用量」10個（500g）/10aの「使用時期」：

[変更前] 植代後～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期但し、移植後30日まで

[変更後] 植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期但し、移植後30日まで

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバ ホトケ ミズガヤツリ ハラモダカ（北海道）	植代後～移植前4日 又は 移植直後～ルイ1葉期 但し、移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	20個 (1kg) /10a	1回	水田に 投げ入 れる。	全域の 普通期及び 早期栽培地帯
	水田一年生雑草 及び マツバ ホトケ ミズガヤツリ (北海道を除く) ハラモダカ (北海道、東北) クダマ (北海道を除く) コウキガ (関東・東山・東海)	植代後～移植前4日 又は 移植直後～ルイ1葉期 但し、移植後30日まで		10個 (500g) /10a			全域 (北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯

ケルソを含む 農薬の総使用回数	ペンキザンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタル ミスガヤツリ ハラモダカ (北海道)	植代後～移植前7日 又は 移植直後～ルイ1葉期 但し、移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	20個 (1kg) /10a	1回	水田に投げ入れる。	全域の 普通期及び 早期栽培地帯
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタル ミスガヤツリ (北海道を除く) ハラモダカ (北海道、東北) クワワイ (北海道を除く) コウキガウ (関東・東山・東海)	植代後～移植前7日 又は 移植直後～ルイ1葉期 但し、移植後30日まで		10個 (500g) /10a			全域 (北海道を除く) の普通期及び 早期栽培地帯

ミルロを含む 農薬の総使用回数	ペンキザンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774



## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21116号	草笛7077フル	ケミロン・ペンタキサゾン水和剤	丸紅株式会社
第19850号	科研草笛7077フル	ケミロン・ペンタキサゾン水和剤	科研製薬株式会社
第19853号	日産草笛7077フル	ケミロン・ペンタキサゾン水和剤	日産化学工業株式会社
第21621号	協友草笛7077フル	ケミロン・ペンタキサゾン水和剤	協友アグリ株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

①「使用量」500ml/10a及び「使用方法」原液湛水散布の「使用時期」及び「使用方法」：

##### [変更前]

「使用時期」 植代時～移植前4日又は移植直後～ $\text{L}^1$ 葉期（近畿・中国・四国、九州は $\text{L}^1$ 発生始期まで）但し、移植後30日まで

「使用方法」 原液湛水散布

##### [変更後]

(イ)「使用時期」 植代時（移植7日前まで）

「使用方法」 植代時に原液のまま散布し混和する

(ロ)「使用時期」 植代後～移植前7日又は移植直後～ $\text{L}^1$ 葉期（近畿・中国・四国、九州は $\text{L}^1$ 発生始期まで）但し、移植後30日まで

「使用方法」 原液湛水散布

②「使用量」300ml/10a（少量散布）の「使用時期」：

[変更前] 植代後～移植前4日又は移植直後～ $\text{L}^1$ 葉期 但し、移植後30日まで

[変更後] 植代後～移植前7日又は移植直後～ $\text{L}^1$ 葉期 但し、移植後30日まで

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】  
 [変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道、東北)	植代時～移植前4日 又は 移植直後～ル <sup>1</sup> I1葉期 (近畿・中国・四国、 九州は ル <sup>1</sup> I発生始期まで) 但し、移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	500ml /10a	1回	原液湛水 散布	全域の 普通期 及び早期 栽培地帯
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) コウキヤガラ (関東・東山・東海、 九州) クログワイ (北海道を除く) シズイ(東北)	植代後～移植前4日 又は 移植直後～ル <sup>1</sup> I1葉期 但し、移植後30日まで		300ml /10a (少量 散布)			全域 (北海道を 除く)の 普通期 及び早期 栽培地帯

クミルロンを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

[ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道、東北)	植代時 (移植7日前まで)	砂壤土～ 埴土	500ml /10a	1回	植代時に原液 のまま散布し 混和する。	全域の 普通期 及び早期 栽培地帯
		植代後～移植前7日 又は 移植直後～ルI1葉期 (近畿・中国・四国、 九州は ルI発生始期まで) 但し、移植後30日まで				原液湛水 散布	
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) コウキヤガラ (関東・東山・東海、 九州) クログワイ (北海道を除く) シズイ(東北)	植代後～移植前7日 又は 移植直後～ルI1葉期 但し、移植後30日まで		300ml /10a (少量 散布)			全域 (北海道を 除く)の 普通期 及び早期 栽培地帯

クミルロンを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

【 変更理由 】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18541号	シング乳剤	ピリブチカルブ・プレチアロール乳剤	三井化学アグロ株式会社
第22680号	ホクサンシング乳剤	ピリブチカルブ・プレチアロール乳剤	ホクサン株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ① 作物名「移植水稻（使用量：500mL/10a）」における使用時期「植代時～移植4日前まで」を「植代後～移植7日前まで」及び「植代時（移植7日前まで）」に変更する。
- ② 作物名「移植水稻（使用量：300mL/10a（少量散布）」における使用時期「植代時～移植4日前まで（移植後に使用する除草剤との体系で使用）」を「植代後～移植7日前まで（移植後に使用する除草剤との体系で使用）」及び「植代時（移植7日前まで）（移植後に使用する除草剤との体系で使用）」に変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

##### 〔変更前〕

別紙のとおり

##### 〔変更後〕

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道)	植代時～ 移植4日 前まで	砂壤土～埴土 (減水深2cm/日 以下、但し早期栽培は1cm/日以下)	500 mL/10a	1回	原液 湛水 散布	全域の普通期 及び 早期栽培地帯 (九州を除く)
			砂壤土～埴土 (減水深 1cm/日以下)				九州の普通期 及び 早期栽培地帯
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	植代時～ 移植4日 前まで (移植後に 使用する 除草剤と の体系で 使用)	壤土～埴土 (減水深 1.5cm/日以下)	300 mL/10a (少量 散布)			北海道
			砂壤土～埴土 (減水深 1.5cm/日以下)				東北
			砂壤土～埴土 (減水深 2cm/日以下)				北陸、関東・東 山・東海の普 通期栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深 1.5cm/日以下)				近畿・中国・四 国の普通期 栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深 1cm/日以下)				九州の普通期 栽培地帯
			砂壤土～埴土 (減水深 1.5cm/日以下)				九州の早期 栽培地帯

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道)	植代後～ 移植7日 前まで	砂壤土～埴土	500 mL/10a	1回	原液 湛水 散布	全域の普通期 及び早期栽培 地帯	
		植代時 (移植7日 前まで)					北海道	
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	植代時 (移植7日 前まで) (移植後に 使用する 除草剤と の体系で 使用)	壤土～埴土	300 mL/10a (少量 散布)		植代時 に原液 のまま 散布し 混和す る。	北海道	
			砂壤土～埴土				東北、北陸、九州 の普通期及び 早期栽培地帯	
			壤土～埴土				関東・東山・ 東海、近畿・ 中国・四国の 普通期栽培地帯	
			砂壤土～埴土				北海道	
			植代後～ 移植7日 前まで (移植後に 使用する 除草剤と の体系で 使用)				原液 湛水 散布	東北、北陸、九州 の普通期及び 早期栽培地帯
								関東・東山・ 東海、近畿・ 中国・四国の 普通期栽培地帯

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21835号	アークエース1キロ粒剤	ブタクロール・ACN粒剤	アグロカネショウ株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ①適用作物「移植水稻」における使用時期「植代時～移植4日前または移植直後～ノビエ1.5葉期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植7日前または移植直後～ノビエ1.5葉期ただし、移植後30日まで」へ変更。
- ②適用作物「移植水稻」における使用時期「植代時～移植4日前または移植後3日～ノビエ1.5葉期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植7日前または移植後3日～ノビエ1.5葉期ただし、移植後30日まで」へ変更。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

##### 〔変更前〕

別紙のとおり

##### 〔変更後〕

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量	本剤の 使用 回数	使用 方法	適用地帯
移植 水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (北海道、東北) ミズガヤツリ (北海道を除く) アオミドロ ・藻類による表層はく離	移植直後 ～ノビエ 1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	砂壤土 ～埴土	1kg/10a	1 回	湛水 散布	北海道
		植代時～移植 4 日前 または移植直後～ ノビエ 1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで					東北、北陸、関東・ 東山・東海の普通期 及び早期栽培地帯
		植代時～移植 4 日前 または移植後 3 日 ～ノビエ 1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで					近畿・中国・四国、 九州の普通期及び 早期栽培地帯
		移植時				田植 同時 散布 機で 施用	全域（近畿・中国・ 四国、九州を除く） の普通期及び 早期栽培地帯

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量	本剤の 使用 回数	使用 方法	適用地帯
移植 水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (北海道、東北) ミズガヤツリ (北海道を除く) アオミドロ ・藻類による表層はく離	移植直後 ～ノビエ 1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	砂壤土 ～埴土	1kg/10a	1 回	湛水 散布	北海道
		植代後～移植 7 日前 または移植直後 ～ノビエ 1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで					東北、北陸、関東・ 東山・東海の普通期及 び早期栽培地帯
		植代後～移植 7 日前 または移植後 3 日 ～ノビエ 1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで					近畿・中国・四国、 九州の普通期及び 早期栽培地帯
		移植時				田植 同時 散布 機で 施用	全域（近畿・中国・ 四国、九州を除く） の普通期及び 早期栽培地帯

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第19846号	科研ベクサー1キロ粒剤	ペントキサゾン粒剤	科研製薬株式会社
第19847号	ベクサー1キロ粒剤	ペントキサゾン粒剤	三井化学アグロ株式会社
第22866号	ベアス1キロ粒剤	ペントキサゾン粒剤	宇都宮化成工業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

適用作物「移植水稻」における使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～ノビエ発生始期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ発生始期ただし、移植後30日まで」と変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

##### 〔変更前〕

別紙のとおり

##### 〔変更後〕

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774



## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	植代後～ 移植前4日 または 移植直後～ ノビエ発生始期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～埴土	1 kg/10a	2回 以内	湛水散布	全域 の普通期及び 早期栽培地帯

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	植代後～ 移植前7日 または 移植直後～ ノビエ発生始期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～埴土	1 kg/10a	2回 以内	湛水散布	全域 の普通期及び 早期栽培地帯

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第19844号	科研ベクサーフロアブル	ペントキサゾン水和剤	科研製薬株式会社
第19845号	ベクサーフロアブル	ペントキサゾン水和剤	三井化学アグロ株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

適用作物「移植水稻」及び「ひえ（水田移植栽培）」の使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～ノビエ発生始期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ発生始期ただし、移植後30日まで」と変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

##### 〔変更前〕

別紙のとおり

##### 〔変更後〕

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	植代後～ 移植前4日 または 移植直後～ ノビエ発生始期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土 ～ 埴土	500ml /10a	2回 以内	原液湛水散布 又は水口施用	全域の 普通期及び 早期栽培地帯
ひえ (水田移植栽培)						原液湛水散布	全域

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	植代後～ 移植前7日 または 移植直後～ ノビエ発生始期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土 ～ 埴土	500ml /10a	2回 以内	原液湛水散布 又は水口施用	全域の 普通期及び 早期栽培地帯
ひえ (水田移植栽培)						原液湛水散布	全域

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22865号	ベアスフロアブル	ペントキサゾン水和剤	宇都宮化成工業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

適用作物「移植水稻」における使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～ノビエ発生始期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ発生始期ただし、移植後30日まで」と変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

##### 【変更前】

別紙のとおり

##### 【変更後】

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	植代後～ 移植前4日 または 移植直後～ ノビエ発生始期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～埴土	500mL/10a	2回 以内	原液 湛水 散布 又は 水口 施用	全域の 普通期及び 早期栽培 地帯

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	植代後～ 移植前7日 または 移植直後～ ノビエ発生始期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～埴土	500mL/10a	2回 以内	原液 湛水 散布 又は 水口 施用	全域の 普通期及び 早期栽培 地帯

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21849号	スウィープフロアブル	ピラゾレート・ペントキサゾン水和剤	科研製薬株式会社
第22420号	MICスウィープフロアブル	ピラゾレート・ペントキサゾン水和剤	三井化学アグロ株式会社

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

適用作物「移植水稲」における使用時期「植代後～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで」と変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

別紙のとおり

【変更後】

別紙のとおり

#### 【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

#### 【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

## 【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (北海道、東北) ミズガヤツリ (北海道を除く) ウリカワ クログワイ (北海道、東北を除く) オモダカ (近畿・中国・四国を除く)	植代後～ 移植前4日 又は 移植直後～ ル・E1葉期 ただし、 移植後30日 まで	砂壤土～埴土	500mL /10a	1回	原液湛水散布	全域(北海道を除く)の普通期及び早期栽培地帯

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (北海道、東北) ミズガヤツリ (北海道を除く) ウリカワ クログワイ (北海道、東北を除く) オモダカ (近畿・中国・四国を除く)	植代後～ 移植前7日 又は 移植直後～ ル・E1葉期 ただし、 移植後30日 まで	砂壤土～埴土	500mL /10a	1回	原液湛水散布	全域(北海道を除く)の普通期及び早期栽培地帯

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20131号	マーシエット乳剤	ブタクロール乳剤	日産化学工業株式会社
第21015号	モンサント マーシエット乳剤	ブタクロール乳剤	日本モンサント株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ） 】

- ・ 作物名「移植水稻」の使用時期のうち「(移植4日前まで)」を「(移植7日前まで)」に変更する。
- ・ 作物名「直播水稻」の使用時期「乾田直播のは種直後～イネ出芽前(雑草発生前)」を「乾田直播のは種直後～イネ出芽前(雑草発生前)(入水15日前まで)」に変更する。



【適用表】  
[変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ブタロールを含む農薬の総使用回数
				葉量	希釈水量				
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ (近畿・中国・四国、九州を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) ミズガヤツリ (東北、北陸、関東・東山・東海)	植代直後 (移植4日前まで)	壤土 ～ 埴土	400～ 500 ml/10a	—	1回	原液湛水散布	北海道	2回以内
		移植後1日～ ル <sup>1</sup> E1葉期 但し、 移植後30日まで		300～ 500 ml/10a					
		植代直後 (移植4日前まで) 又は 移植後1日～ ル <sup>1</sup> E1葉期 但し、 移植後30日まで		300～ 500 ml/10a				東北	
		植代直後 (移植4日前まで)		350～ 500 ml/10a					
		300～ 500 ml/10a	関東・東山・ 東海の普通 期及び早期 栽培地帯						
直播水稻	水田一年生雑草	乾田直播のは種直後～ イ <sup>1</sup> 出芽前 (雑草発生前)		1000～ 1500 ml/10a	50～75 l/10a		全面土壌散布	関東・東山・ 東海、近畿・ 中国・四国、 九州	
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ	乾田直播の入水前 10日～2日		500 ml/10a	100 l/10a		全面土壌散布	全域 (北海道、 北陸を除く)	

[ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用 土壌	使用量		本剤 の 使用 回数	使用 方法	適用地帯	ブタロー ルを含む農薬 の総使用 回数
				薬量	希釈 水量				
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ (近畿・中国・四 国、九州を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) ミズガヤツリ (東北、北陸、 関東・東山・東海)	植代直後 (移植7日前まで)	壤土～ 埴土	400～ 500 ml/10a	—	1回	原液湛 水散 布	北海道	2回 以内
		移植後1日～ ルイ1葉期 但し、 移植後30日まで		300～ 500 ml/10a					
		植代直後 (移植7日前まで) 又は 移植後1日～ ルイ1葉期 但し、 移植後30日まで		300～ 500 ml/10a					
		植代直後 (移植7日前まで)		350～ 500 ml/10a					
直播 水稲	水田一年生雑草	乾田直播の は種直後～ イ出芽前 (雑草発生前) (入水15日前まで)		1000～ 1500 ml/10a	50～75 l/10a	全面土 壤散 布	関東・東山・ 東海、近畿・ 中国・四国、 九州	全域 (北海道、 北陸を除く)	
		乾田直播 の入水前 10日～2日		500 ml/10a	100 l/10a				

【 変更理由 】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20825号	マーシェットジャンボ	ブタクロール粒剤	日産化学工業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「移植水稻の」使用時期「植代後～移植前4日 または 移植後1～5日（1/11葉期まで）」を「植代後～移植前7日 または 移植後1～5日（1/11葉期まで）」に変更する。

【適用表】  
[変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ブタロールを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道)	移植後1～5日 (ビエ1葉期まで)	砂壤土～ 埴土  壤土～ 埴土	小包装 (パック) 10個 (500g) /10a	1回	水田に 小包装 (パック) のまま投げ 入れる。	北海道	2回以内
	植代後～ 移植前4日 または 移植後1～5日 (ビエ1葉期まで)	東北、北陸、 近畿・中国・四国、 九州の 普通期及び 早期栽培地帯  関東・東山・東海 の普通期及び 早期栽培地帯						

[変更後]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ブタロールを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道)	移植後1～5日 (ビエ1葉期まで)	砂壤土～ 埴土  壤土～ 埴土	小包装 (パック) 10個 (500g) /10a	1回	水田に 小包装 (パック) のまま投げ 入れる。	北海道	2回以内
	植代後～ 移植前7日 または 移植後1～5日 (ビエ1葉期まで)	東北、北陸、 近畿・中国・四国、 九州の 普通期及び 早期栽培地帯  関東・東山・東海 の普通期及び 早期栽培地帯						

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20826号	マーシェット1キロ粒剤	ブタクロール粒剤	日産化学工業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

- ・作物名「移植水稻」の使用時期「植代後～移植前4日」の表記を「植代後～移植前7日」に変更する。

【適用表】  
[変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道)	移植時	砂壤土～ 埴土	1kg/ 10a	1回	田植同時散布機 で施用	北海道、北陸、 関東・東山・東海 の普通期及び 早期栽培地帯
			壤土～ 埴土				東北
		移植直後～ ル <sup>1</sup> E1葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土			湛水散布	北海道
		植代後～移植前4日 又は 移植直後～ ル <sup>1</sup> E1葉期 (砂壤土では 移植後1日～ ル <sup>1</sup> E1葉期) ただし、 移植後30日まで					東北
		植代後～移植前4日 又は 移植直後～ ル <sup>1</sup> E1葉期 ただし、 移植後30日まで					北陸、 関東・東山・東海 の普通期及び 早期栽培地帯
		植代後～移植前4日 又は 移植後1日～ ル <sup>1</sup> E1葉期 ただし、 移植後30日まで					近畿・中国・四国、 九州の普通期 及び 早期栽培地帯

ブタクロールを含む  
農薬の総使用回数

2回以内

[ 変更後 ]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯		
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道)	移植時	砂壤土～ 埴土	1kg/ 10a	1回	田植同時散布機 で施用	北海道、北陸、 関東・東山・東海 の普通期及び 早期栽培地帯		
			壤土～ 埴土				東北		
		移植直後～ ルイ1葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土			1kg/ 10a	1回	湛水散布	北海道
		植代後～移植前7日 又は 移植直後～ ルイ1葉期 (砂壤土では 移植後1日～ ルイ1葉期) ただし、 移植後30日まで							東北
		植代後～移植前7日 又は 移植直後～ ルイ1葉期 ただし、 移植後30日まで							北陸、 関東・東山・東海 の普通期及び 早期栽培地帯
		植代後～移植前7日 又は 移植後1日～ ルイ1葉期 ただし、 移植後30日まで							近畿・中国・四国、 九州の普通期 及び 早期栽培地帯

ブタクロールを含む 農薬の総使用回数
2回以内

【 変更理由 】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

<p>【本件の問い合わせ先】 農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室 柴田、代市 TEL:03-3502-5969 FAX:03-3501-3774</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21459号	マーシエット粒剤5	ブタクロール粒剤	日産化学工業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるところのみ）】

- 作物名「移植水稻」の使用時期「植代後～移植4日前まで」を「植代後～移植7日前まで」に変更する。



【適用表】  
[変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北)	植代後～ 移植4日前まで	壤土 ～ 埴土	2～3kg /10a	1回	湛水 散布	全域(九州を除く) の普通期栽培地帯 及び九州の 早期栽培地帯
		移植後3～10日 (ノビエ1.5葉期 まで)		3kg/10a			全域の普通期及び 早期栽培地帯

ブタクロールを含む 農薬の総使用回数
2回以内

[変更後]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北)	植代後～ 移植7日前まで	壤土 ～ 埴土	2～3kg /10a	1回	湛水 散布	全域(九州を除く) の普通期栽培地帯 及び九州の 早期栽培地帯
		移植後3～10日 (ノビエ1.5葉期 まで)		3kg/10a			全域の普通期及び 早期栽培地帯

ブタクロールを含む 農薬の総使用回数
2回以内

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

<p>【本件の問い合わせ先】 農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室 柴田、代市 TEL:03-3502-5969 FAX:03-3501-3774</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------

平成24年7月6日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22430号	デルカット乳剤	オキサジアゾン・ブタクロール乳剤	日産化学工業株式会社
第21160号	デルカット乳剤	オキサジアゾン・ブタクロール乳剤	日産化学工業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・ 作物名「移植水稻」の使用時期のうち「(移植4日前まで)」を「(移植7日前まで)」に変更する。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】  
 [変更前]

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ピサジアロンを含む農薬の総使用回数	ブクロールを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ クログワイ (北海道を除く) コウキヤガラ (関東・東山・東海)	植代時 (移植4日前まで)	砂壤土～ 埴土	500 mL/10a	1回	植代時に原液のまま散布し混和する。または、植代直後原液のまま散布し、ただちに整地板で均平作業を行う。	全域の普通期及び早期栽培地帯	1回	2回以内
	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	植代時 (移植4日前まで) (移植後に使用する除草剤との体系で使用)		壤土～ 埴土			250～350 mL/10a (少量散布)		

【 変更後 】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	オキサリリンを含む農薬の総使用回数	ブタロールを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ クログワイ (北海道を除く) コウキヤガラ (関東・東山・東海)	植代時 (移植7日前まで)	砂壤土～ 埴土	500 mL/10a	1回	植代時に原液のまま散布し混和する。または、植代直後原液のまま散布し、ただちに整地板で均平作業を行う。	全域の普通期及び早期栽培地帯	1回	2回以内
	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	植代時 (移植7日前まで) (移植後に使用する除草剤との体系で使用)		250～350 mL/10a (少量散布)			東北、北陸、関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯 近畿・中国・四国、九州の普通期栽培地帯及び近畿・中国・四国の早期栽培地帯		

【 変更理由 】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

### 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第15985号	パイサー粒剤	ピラゾキシフェン粒剤	石原産業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

作物名「直播水稻（東北、北陸）」の使用時期「は種前3日～は種後7日（ビ<sup>1</sup>発生始期まで）ただし、収穫90日前まで」を「は種直後～は種後7日（ビ<sup>1</sup>発生始期まで）ただし、収穫90日前まで」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
直播水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	は種前3日～は種後7日 (ビ <sup>1</sup> 発生始期まで) ただし、収穫90日前まで	壤土～ 埴土	3kg/10a	1回	湛水 散布	東北 北陸

ピラゾキシフェンを含む 農薬の総使用回数
2回以内

〔変更後〕

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
直播水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	は種直後～は種後7日 (ビ <sup>1</sup> 発生始期まで) ただし、収穫90日前まで	壤土～ 埴土	3kg/10a	1回	湛水 散布	東北 北陸

ピラゾキシフェンを含む 農薬の総使用回数
2回以内

【変更理由】

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

平成24年7月27日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月29日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第14625号	カスミンボルドー	カスガマイシン・銅水和剤	北興化学工業株式会社
第15744号	カッパーシン水和剤	カスガマイシン・銅水和剤	Meiji Seika ファルマ株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

・作物名「セルリー」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カスガマイシンを含む農薬の総使用回数	銅を含む農薬の総使用回数
セルリー	斑点病 軟腐病	1000倍	—	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	—

[変更後]

削除

【変更理由】

登録維持に必要な追加の資料整備に時間と経費を要するため。

【本件の問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

平成24年7月27日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月29日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	登録所有会社
第14194号	ジチアノン・チオファネートメチル水和剤	日曹テランT水和剤	日本曹達株式会社
第14195号	ジチアノン・チオファネートメチル水和剤	金鳥テランT水和剤	大日本除蟲菊株式会社

### ■変更内容及び変更理由（下線部分は、使用制限変更に係る登録変更）

#### 【変更内容（今回の使用制限に係る部分のみ）】

- (1) 作物名「ぶどう」について次のとおり変更する。
  - ① 本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」に変更する。
  - ② チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数を「6回以内（塗布は3回以内、散布は3回以内）」から「5回以内（塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は1回以内）」に変更する。

#### 【適用表（今回の使用制限に係る部分のみ）】

別紙

#### 【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774



## 〈変更前〉

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジフロンを 含む農薬の 総使用回数	チオファネートホルを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	黒とう病 枝膨病	1000 倍	落弁期まで 但し 収穫 75 日前 まで	2 回以内	散布	3 回以内 (休眠期は 1 回以内、 生育期は 2 回以内)	6 回以内 (塗布は 3 回以内、 散布は 3 回以内)

## 〈変更後〉

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジフロンを 含む農薬の 総使用回数	チオファネートホルを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	黒とう病 枝膨病	1000 倍	落弁期まで 但し 収穫 75 日前 まで	<u>1 回</u>	散布	3 回以内 (休眠期は 1 回以内、 生育期は 2 回以内)	<u>5 回以内</u> ( <u>塗布は 3 回以内、</u> <u>休眠期の散布は</u> <u>1 回以内、</u> <u>生育期の散布は</u> <u>1 回以内</u> )

※下線部は、使用制限該当部分。

平成24年7月27日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月29日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	登録所有会社
第14228号	チオファネートメチル水和剤	トップジンMゾル	日本曹達株式会社
第14230号	チオファネートメチル水和剤	ホコトトップジンMゾル	北興化学工業株式会社
第19783号	チオファネートメチル水和剤	家庭園芸用トップジンMゾル	日本曹達株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容(今回の使用制限に係る部分のみ)】

- (1) 作物名「ぶどう」について次のとおり変更する。
  - ① 本剤の使用回数を「3回以内」から「1回」に変更する。
  - ② チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数を「6回以内(塗布は3回以内、散布は3回以内)」から「5回以内(塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は1回以内)」に変更する。

【適用表(今回の使用制限に係る部分のみ)】

別紙

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774

## 〈変更前〉

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チオファネートメチルを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	黒とう病	1000 倍	—	落弁期まで 但し、 収穫 60 日前まで	3 回以内	散布	6 回以内 (塗布は 3 回以内、 散布は 3 回以内)

## 〈変更後〉

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用 方法	チオファネートメチルを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	黒とう病	1000 倍	200～ 700L/10a	収穫 45 日前 まで	<u>1 回</u>	散布	<u>5 回以内</u> (塗布は 3 回以内、 休眠期の散布は <u>1 回以内</u> 、 生育期の散布は <u>1 回以内</u> )

※下線部は、使用制限該当部分。

平成24年7月27日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月29日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	登録所有会社
第11573号	チオファネートメチル水和剤	トップジンM水和剤	日本曹達株式会社
第11574号	チオファネートメチル水和剤	クマイトップジンM水和剤	クマイ化学工業株式会社
第11575号	チオファネートメチル水和剤	ホコトップジンM水和剤	北興化学工業株式会社
第11576号	チオファネートメチル水和剤	ヤマトトップジンM水和剤	協友アグリ株式会社
第20976号	チオファネートメチル水和剤	日農トップジンM水和剤	日本農薬株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容(今回の使用制限に係る部分のみ)】

- (1) 作物名「ぶどう」について次のとおり変更する。
  - ① 本剤の使用回数を「3回以内」から「1回」に変更する。
  - ② チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数を「6回以内(塗布は3回以内、散布は3回以内)」から「5回以内(塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は1回以内)」に変更する。

【適用表(今回の使用制限に係る部分のみ)】

別紙

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774

## 〈変更前〉

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チオファネートメチルを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	灰色かび病 褐斑病 うどんこ病 黒とう病	1500～ 2000 倍	200～ 700L/10a	落弁期まで 但し、 収穫 60 日 前まで	3 回以内	散布	6 回以内 (塗布は 3 回以内、 散布は 3 回以内)
	晩腐病 芽枯病	1000 倍					
	苦腐病	1000～ 1500 倍					

## 〈変更後〉

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チオファネートメチルを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	灰色かび病 褐斑病 うどんこ病 黒とう病	1500～ 2000 倍	200～ 700L/10a	収穫 45 日 前まで	1 回	散布	5 回以内 (塗布は 3 回以内、 休眠期の散布は 1 回以内、 生育期の散布は 1 回以内)
	晩腐病 芽枯病	1000 倍					
	苦腐病	1000～ 1500 倍					

※下線部は、使用制限該当部分。

平成24年7月27日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月29日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	登録所有会社
第17698号	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤	日曹ゲッター水和剤	日本曹達株式会社
第17697号	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤	住化ゲッター水和剤	住友化学株式会社
第17699号	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤	杣コーゲッター水和剤	北興化学工業株式会社
第17700号	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤	ヤシマゲッター水和剤	協友アグリ株式会社

### ■変更内容及び変更理由(下線部分は、使用制限変更に係る登録変更)

【変更内容(今回の使用制限に係る部分のみ)】

- (1) 作物名「ぶどう」について次のとおり変更する。
  - ① 本剤の使用回数を「3回以内」から「1回」に変更する。
  - ② チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数を「6回以内(塗布は3回以内、散布は3回以内)」から「5回以内(塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は1回以内)」に変更する。
- (2) 作物名「かんきつ(みかんを除く)」について次のとおり変更する。
  - ① 適用病害虫名「灰色かび病」の希釈倍数を「1000～2000倍」から「1500～2000倍」に変更する。
  - ② 適用病害虫名「そうか病」の希釈倍数を「1000～1500倍」から「1500倍」に変更する。

【適用表(今回の使用制限に係る部分のみ)】

〈変更前〉

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジエトフェンカルブを含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	
ぶどう	灰色かび病	1000～ 1500倍	200～ 700L/10a	開花直前～ 落弁期まで 但し、 収穫60日 前まで	3回以内	散布	3回以内	6回以内 (塗布は3回以内、 散布は3回以内)	
かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病	1000～ 2000倍		開花期	5回以内		5回以内	5回以内	8回以内 (塗布は3回以内、 散布は5回以内)
	そうか病	1000～ 1500倍		収穫21日 前まで					

〈変更後〉

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジエトフェンカルブを含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
ぶどう	灰色かび病	1000～ 1500倍	200～ 700L/10a	収穫45日 前まで	<u>1回</u>	散布	3回以内	<u>5回以内</u> (塗布は3回以内、 休眠期の散布は <u>1回以内</u> 、 生育期の散布は <u>1回以内</u> )
かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病	<u>1500～ 2000倍</u>		開花期	5回以内			5回以内
	そうか病	<u>1500倍</u>	収穫21日 前まで					

※下線部は、使用制限該当部分。

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774



平成24年7月27日  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課  
農薬対策室取締業務係

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成24年8月29日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	登録所有会社
第11995号	チオファネートメチル・マンネブ水和剤	レイト水和剤	日本曹達株式会社
第11996号	チオファネートメチル・マンネブ水和剤	クマイレイト水和剤	クマイ化学工業株式会社

### ■変更内容及び変更理由

【変更内容(今回の使用制限に係る部分のみ)】

- (1) 作物名「ぶどう」について次のとおり変更する。
  - ① 本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」に変更する。
  - ② チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数を「6回以内(塗布は3回以内、散布は3回以内)」から「5回以内(塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は1回以内)」に変更する。

【適用表(今回の使用制限に係る部分のみ)】

別紙

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

【本件の問い合わせ先】  
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室  
柴田、代市  
TEL:03-3502-5969  
FAX:03-3501-3774

## 〈変更前〉

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チオファネートメチルを 含む農薬の 総使用回数	マンネブを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	晩腐病	800～ 1000倍	落弁期まで 但し、収穫75日 前まで	2回以内	散布	6回以内 (塗布は3回以内、 散布は3回以内)	2回以内

## 〈変更後〉

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チオファネートメチルを 含む農薬の 総使用回数	マンネブを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	晩腐病	800～ 1000倍	落弁期まで 但し、収穫75日 前まで	<u>1回</u>	散布	<u>5回以内</u> (塗布は3回以内、 <u>休眠期の散布は</u> <u>1回以内、</u> <u>生育期の散布は</u> <u>1回以内</u> )	2回以内

※下線部は、使用制限該当部分。